

# 北社会ニュース 第7号

2004-11-15

発行・鈴木壮夫

227回北社会（11月17日）当日、仙台に所用ができて北社会には出席できないことになってしまいました。講師・高橋由貴彦先輩の講演は平成元年3月、もう16年も過去のことですが「天正使節の欧州見聞記」よく記憶しております。

今回のブラウンジュニア氏の写真も当時の米国世界戦略も興味津々ですが残念です。

## 北社会・来月以降の開催日

12月：会員の皆さんも師走でお忙しいでしょうから休会にします。

1月19日（水）18：00－20：15

総会（年頭に当り、計画概要及び前年度会計報告そして会員  
お一人お一人のスピーチ）

2月16日（水）18：00－20：15

講師：高橋三郎氏（高17回）

「VISAカードの組織と仕組み」

佐藤芳博氏（高19回）

「日本レンゲの会20年の活動」

（10月20日、台風にて延期せざるを得なかった会員によるスピーチ）

3月16日（水）18：00－20：15

講師：高橋宏明氏（高11回）－東北電力・副社長－

エネルギー問題で国民のコンセンサスが必要となる

「核燃料の後処理費用」を予定しております。

会場はエドモントにて変更ありません。

渡辺宏さん「歳王慰霊登山」－産経新聞記事－

千葉英之氏（高4回）よりご送付いただきましたので御覧下さい。

北社会ニュース第6号（10月20日発行）

先月、配布できませんでしたので添付します。



ホテル・エヴェレストビュー (3885M) にて。11月5日。快晴でした。  
サガルマータ (エヴェレスト) に雲がちらっとかかっています。

大学卒業して40年目の初めての11連休でした。「ネパール訪問」という臨時休業の店頭のお知らせをお客さんはどのように受け入れていただけるのか、グループホームに入居したばかりの母はどうか、私達が死亡した時子供達は私の説明通り関係先に正しく請求できるのか、そして肝心要の私の体力は?・・・不安の旅立ちでした。

帰国して6日目、そば打ちが「力仕事」であることを再認識させられておりますが、わくわくとした楽しさ、喜びがよみがえってきます。「楽しい11日間だった」これ以上の感想はありません。来年は64才。残された時間は乏しい。毎年こんな楽しみを経験せずに・・・は自分らしくない、正直に生きようと決意しているここ数日です。

トレッキングの状況を少々報告させて下さい。エヴェレストが世界最高峰と認定されたのは1851年英領インド測量局長ジョウジア・エヴェレスト氏が8848Mと測量したことによるそうです。本来の名前「サガルマータ」が世界中に「エヴェレスト」として伝播された。当時の「大英帝国」の横暴、むかつく!と腹をたてる我が夫婦でした。

夫婦共々軽い高山病になりました。パルスオキシメーターという計測器があります。

人差し指を入れると血液中の酸素の量と脈拍が表示されます。表現が適切かどうか、皆さんがご理解できるかどうか分かりませんが、私の経験でいうと走って、走っている時、息はぜいぜい、もっと苦しくなってムネがやけて、やけてという中学・高校時代の経験でした。3500M付近を歩きました。眼前には6000-7000Mの白銀の連峰が次から次へと見る事ができました。トレッカーの多数は西洋人でした。Four more years、G・W・Bushの再選は山道で聞きました。耕地も僅か、しかし食糧は自給、平均寿命は50才代、ネパールを少しは理解してきました。ナマステイ!